

2020年9月4日

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院に心不全のため入院され、リハビリテーション介入をさせていただいている患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、診療情報や検査データ等を解析する「多施設前向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療によって得られたデータを解析するので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

慢性心不全患者のフレイル実態調査

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 本郷裕士

3. 研究の目的

近年、高齢心不全患者さんの再入院や予後に関わる要因としてフレイル（虚弱）が関連することが明らかになってきました。心不全で入院された後、身体機能がどの程度回復したか、を調査することは高齢心不全患者さんの予後の改善のためにも重要なデータとなります。日本心血管理学療法学会では、下記の3点を当面の目標とし、全国多施設で研究を実施いたします。

- (1) 循環器理学療法を受ける心不全患者のフレイル有病率を明らかにする
- (2) 入院前の身体機能まで回復しないまま退院する心不全患者の割合を明らかにする
- (3) 高齢心不全患者の予後とその関連因子を調査する

4. 研究の概要**(1) 対象となる患者さん**

本研究の対象となる患者さんは、承認日から2022年3月31日の間に、リハビリテーション科で理学療法を受けた65歳以上の心不全の患者さんです。利用させていただくカルテ情報は下記です。

(2) 利用させて頂く情報

- ①患者さんの基本情報：年齢、性別、身体計測、介護保険認定、独居・支援
- ②医学的情報：診断名、既往歴、心臓超音波検査、血液データ、治療方法、治療経過
- ③理学療法評価：入院前の生活機能（厚生労働省「基本チェックリスト」）、入院中の身体機能評価、握力、通常歩行速度、上腕・下腿周径）、日常生活動作、フレイルの有無、リハビリテーションの内容
- ④予後・退院先：転帰先、死亡の有無と生存日数、死因、再入院・再発の有無と日時、在院日数、外来理学療法の有無

(3) 方法

研究対象となる患者さんの通常診療によって得られた検査データ等を収集・解析し、上記3つの目的を明らかにする。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 本郷 裕士

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834 E-mail : hongou.yuuji@aijinkai-group.com